

令和2年度事業実施報告書

平成22年7月の改正臓器移植法の全面施行に伴い、本人の意思が不明な場合でも家族の承諾があれば臓器提供が可能になり、全国各地で脳死下での臓器提供例が数多く報告され、我が国における移植医療が着実に推進されつつあります。

本県においても、この9年間で脳死下での臓器提供が15件、また心停止下の提供が3件ありました。これらの臓器提供の大半が、本人の書面での意思表示はなく家族の承諾によるものでありました。

一方、本県の腎臓移植希望登録者は218名（令和3年3月31日現在）おられ、臓器移植をめぐる環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、なお一層の臓器移植に関する普及啓発や臓器提供の促進を図り、公益財団法人としての使命を果たすべく、下記のように多岐にわたり各種の事業を実施しました。

I 事業

1 意思表示カード普及啓発事業

(1) 臓器提供意思表示カード・リーフレットの窓口への設置

市町や健康福祉センター等公共機関、医療機関、金融機関、コンビニエンスストア、経済団体等協力機関の窓口継続設置

(2) 臓器移植推進サポーター（宇都宮ブレックス/喜多川選手・YASUKAさん）の任命・任命式（9月15日 医師会長室）

- ・サポーターを起用したポスターの作成、掲示
- ・オリジナル臓器提供意思表示カード付きリーフレット（宇都宮ブレックスとのコラボ企画）の作成及び配布（街頭キャンペーン及び12月～1月のブレックスのホームゲーム時）

(3) 臓器移植普及推進月間街頭キャンペーンの実施

(4) 各種イベント（市町健康まつり等）への参加

} 別紙「令和元年度普及啓発活動の実績」のとおり

(5) 協会ホームページによる情報発信

(6) 栃木放送、FMとちぎ、とちぎTVでのCM、関東・東野バス車内広告

- ・8月の高校野球交流試合に周知CM（TV）
- ・10月の臓器移植普及推進月間に併せて普及推進CM（AM/FMラジオ・TV）及びバス車内広告

(7) 命の学習会（出前講座）について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できなかった。

(8) その他の啓発事業の実施

ア 市町成人式での一斉啓発（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止または延期した市町が多かった。）

イ 各種講演会、研修会における普及啓発活動については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会等が開催中止となったことにより、実施できなかつた。

ウ 臓器移植普及推進月間中の啓発活動

- ・「宇都宮タワー」のライトアップは、タワー耐震工事中のため実施できなかつた。（令和3年度については既に予約済み）
- ・「10月は臓器移植普及推進月間です。」懸垂幕を県庁舎に掲示（10月1日～10日：県庁舎北別館）
- ・県庁玄関の「とちまるくん人形」たすき飾りつけ（10月19日～23日）
- ・本町交差点地下通路へポスター掲示
- ・県庁ツイッターによる広報（10月17日）
- ・県庁本館内ポスター掲示及び本館エレベーター内電子掲示板による広報
- ・栃木県タクシー協会へ啓発用ポケットティッシュ配布
（5月 ポケットティッシュ：500個）

2 コーディネート活動奨励事業

（1）院内移植コーディネーター研修会の開催

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかつたため、各院内コーディネーターに研修資料を送付した。（6月29日、令和3年1月19日、3月15日）

（2）院内移植コーディネーター活動支援

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、病院訪問ができなかつた。電話による相談対応を実施した。

3 臓器移植推進事業

（1）臓器提供に対する謝礼等

脳死下臓器提供 0件

献花料／臓器提供施設謝金の支出

- ・献花料 0件 （1件当たり 30,000円）
- ・提供施設に対する謝金 0件 （1件当たり 100,000円）

（2）腎臓移植希望登録検査費用の一部助成

組織適合性検査費用の一部を助成

- ・1件あたり助成額 検査経費の1／3（上限 10,000円）
- ・実績 17人 173,630円

4 人工透析事業

（1）調査事業の実施

ア 人工透析医療実態調査

県内透析医療機関の協力により、「人工透析医療実態調査」を実施
(調査基準日) 令和2年12月31日現在

イ 人工透析導入調査(継続実施中: 導入者報告書1, 500枚作成)

(2) 緊急透析患者カードの作成

- ・残数が少なくなったため、予備費から金額を繰り入れて900枚作成した。

5 腎不全予防事業

(1) 機関誌(協会だより「第31号」)を令和2年2月発行

(発行部数) 4,000部

(2) 慢性腎臓病(CKD)対策啓発事業として、CKD啓発動画研究会に助成

6 臓器移植推進連絡調整者設置事業

臓器移植への理解を促進するための普及啓発活動や、臓器提供発生時における関係機関との連絡調整を行う県移植コーディネーターの設置

(1) 普及啓発活動(健康まつり等中止が多かった)

別紙「令和2年度普及啓発活動の実績」のとおり

(2) コーディネート活動

ア 臓器提供情報に基づき、(公社)日本臓器移植ネットワークと連携して、臓器提供から移植までが円滑に行われるよう関係機関との連絡調整を実施

イ 臓器摘出の際は、栃木県と連携し、搬送手段の調整並びに手配を実施

ウ 臓器提供後に、(公社)日本臓器移植ネットワークと連携し、提供施設との事後調整並びに提供者遺族訪問等による各種ケアを実施

エ 各病院が実施する臓器提供シミュレーションへの参加指導等の実施

オ 各種講演会、研修会での講演活動の実施

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動縮小となった。

II 運営

1 財政等

基本財産の効率的運用や事務的経費の節減に努めたほか、臓器移植普及推進のための募金活動を県庁内各課(室)及び出先機関、県立学校並びに県内医療機関を対象に展開したほか、支援型飲料自動販売機の設置を進めた。

支援型飲料自動販売機は令和2年度当初6台が稼働している。今年度は栃木市の医療法人青木眼科医院が設置し、合計7台となった。

自動販売機からの寄付金も増えてきており、貴重な財源となっている。

2 会議

(1) 公益財団法人栃木県臓器移植推進協会定例理事会の開催等

ア 第17回定例理事会（令和2年6月：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。）

- ・令和元年度事業報告・収支決算報告
- ・第17回定例評議員会の開催の決定
- ・役員改選に伴う臨時理事会の開催の決定
- ・基本財産の運用

イ 役員改選による臨時理事会（令和2年7月：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。）

- ・理事長 稲野秀孝氏（栃木県医師会長）
 - ・副理事長 小林健二氏（栃木県済生会支部長）
 - ・常務理事 海老名英治氏（栃木県保健福祉部長）
- が選任された。

ウ 専門委員会の委員（透析委員1名及び企画委員3名）の選任

- ・令和2年10月に書面開催により実施した。

エ 第18回定例理事会（令和3年3月：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。）

- ・令和3年度事業計画案・予算審議
- ・第18回定例評議員会の開催の審議

(2) 公益財団法人栃木県臓器移植推進協会定例評議員会の開催

ア 第17回定例評議員会（令和2年6月：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。）

- ・令和2年度事業報告・収支決算報告
- ・評議員及び理事並びに監事の選任
- ・基本財産の運用

イ 第18回定例評議員会（令和3年3月：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。）

- ・令和3年度事業計画案・予算審議

(3) 専門委員会の開催

ア 透析委員会（令和2年11月：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。）

- ・透析委員会委員長の選任→自治医科大学腎臓内科教授：齋藤 修氏を選任

- ・令和元年人工透析医療実態調査の結果報告
 - ・令和2年調査計画（調査票の検討等）
- イ 臓器移植推進会議（企画委員会）（令和3年1月：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催とした。）
- ・臓器移植推進事業の現況（令和2年度実施状況報告）及び今後の取り組み（令和3年度事業計画の検討）について

| 日 | イベント名 | 場 所 | 啓発対象 | 配布物等(セット) | 参加スタッフ | 協会 主催 | 備 考 |
|-----------|--------------------|-----------------------|-----------------|-------------------------|----------|----------|-------------|
| | 看護の日記念行事 | 総合文化センター | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | 協会 | | 中止 |
| | 県民の日記念行事 | 県庁本館2階 | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | 県・協会 | | 中止 |
| | 日光ボランティア・市民活動フェスタ | 日光市中央公民館 | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | 協会 | | 中止 |
| | 石橋地区消防組合 救急フェア | 石橋総合病院 | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | 協会 | | 中止 |
| 10月4日(日) | 街頭キャンペーン(県央) | オリオン通りイベント広場 | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | 500 県・協会 | ○ | アンケート調査はできず |
| 10月10日(土) | 街頭キャンペーン(県南) | イオンモール佐野新都市 | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | 300 県・協会 | ○ | アンケート調査不可 |
| | 街頭キャンペーン(県北) | にしなすの運動公園 | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | | | 中止 |
| | マイタウンまつり2019 | 那須赤十字病院 | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | | | 中止 |
| 10月25日(日) | 第35回健康都市おやまフェスティバル | 小山市健康医療支援センター | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | 120 協会 | | |
| | 日産しらさぎ祭り | 日産自動車上三川工場 | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | 協会 | | 中止 |
| | どまんなかフェスタ佐野 | 佐野市田沼グリーン スポーツセンター | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | | | 中止 |
| | ふれあいDAY | 芳賀赤十字病院 | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | 協会(手分け) | | 中止 |
| | 益子町令和2年度健康福祉まつり | 益子町体育館武道場 | 一般県民 | 意思表示カード・ リーフレット・グッズ等 | 協会(手分け) | | 中止 |
| 12月20日(日) | 宇都宮BREXホームゲーム | 宇都宮市体育 (プレックスアリーナ) | 一般県民(ゲ ム観戦者) | 意思表示カード・ リーフレット | 2,800 協会 | ○ | |
| 2月6日(土) | 宇都宮BREXホームゲーム | 宇都宮市体育 (プレックスアリーナ) | 一般県民(ゲ ム観戦者) | 意思表示カード・ リーフレット | 1,500 協会 | ○ | |

意思表示カード等配布総数 (5,220) 枚